

十月四日、アメリカ合衆国フロリダ州と和歌山県との姉妹提携締結の調印式が、県庁で行われました。

## 深い友情と交流

### アメリカ合衆国フロリダ州と姉妹提携締結



アメリカ大陸東南端の半島に位置するフロリダ州は、世界有数の海洋リゾート地帯。その代表的な観光地である「マイアミ・ビーチ」の名は誰もが一度は聞いたことがあります。

そのほかにも、柑橘を中心とした農業や長い海岸線を利用した漁業が盛んで、最近では、ケネディー宇宙センターに代表されるハイテク産業もめざましく発展しています。

これで、和歌山県との姉妹・友好提携は、中国・山東省、フランス・ピレネー・オリアンタル県、アメリカ・フロリダ州の三つとなりました。

何かと共通点の多いフロリダ州と和歌山県。観光・リゾート、ハイテク産業など見習うところはたくさんあります。今後は、経済、教育、文化など多方面にわたり交流を深めていきます。



## 県知事選挙 投票日 11月5日(日)



## おしらせ

県庁・県教育委員会は〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

住 し

県植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「楽しい菊の育て方」 11月19日 寒ラン展 11月23日 洋ラン展 12月1~3日

## わかやま館の臨時休館

「第五回全国産業教育フェア」の準備に伴い、11月13~15日を休館日といたします。

## お気軽にどうぞ

## 交通事故相談

〔常設相談〕月~金曜日(東牟婁県事務所は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 每月第1、3月曜日 ●東牟婁県事務所 每月第1、3(11月は第2、3)金曜日 受付 午後1~3時

〔巡回相談〕●伊都郡事務所 11月22日 ●西牟婁県事務所 12月13日 受付 午後3時まで

## 県民相談

〔常設相談〕月~金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日

受付 午前9~11時 場所 県庁県民相談室

〔移動相談〕●御坊市財部会館 11月28日 ●熊野川町総合開発センター 12月6日 ●伊都郡総合庁舎 12月13日 受付 午後1~3時

\*くわしくは県庁県民相談室☎(0734)41-2359(交通事故相談) 41-2356(県民相談)へ

11月7日は「紀州・山の日」

期間	平成8年1月7日~3月18日
申込	① 往復ハガキに希望教室名、住所、氏名、年齢、生年月日、学年、保護者名(印)、電
5日	県庁住宅課、各土木事務所(和歌山土木を除く)、管内各
申込用紙配布	11月6日~12月5日
5日	鮎川第一団地(大塔村) 3戸
中若養団地(田辺市)	2戸
西跡之浦団地(田辺市)	6戸
中若養団地(田辺市)	22-3111へ
(0738)	22-3111へ
午後4時	日高総合庁舎会議室
くわしくは御坊土木事務所	くわしくは御坊土木事務所
午後4時	田辺土木事務所
受付	12月4、5日前半10時
1日	県庁住宅課、御坊土木事務所、管内各市町村役場
申込用紙配布	11月15日~12月1日
午後4時	日高総合庁舎会議室
くわしくは御坊土木事務所	くわしくは御坊土木事務所
午後4時	田辺土木事務所
受付	12月4、5日前半10時
1日	県庁住宅課、御坊土木事務所、管内各市町村役場

期間	平成8年1月7日~3月18日
申込	① 往復ハガキに希望教室名、住所、氏名、年齢、生年月日、学年、保護者名(印)、電
5日	県庁住宅課、各土木事務所(和歌山土木を除く)、管内各
申込用紙配布	11月6日~12月5日
5日	鮎川第一団地(大塔村) 3戸
中若養団地(田辺市)	2戸
西跡之浦団地(田辺市)	6戸
中若養団地(田辺市)	22-3111へ
(0738)	22-3111へ
午後4時	日高総合庁舎会議室
くわしくは御坊土木事務所	くわしくは御坊土木事務所
午後4時	田辺土木事務所
受付	12月4、5日前半10時
1日	県庁住宅課、御坊土木事務所、管内各市町村役場
申込用紙配布	11月15日~12月1日
午後4時	日高総合庁舎会議室
くわしくは御坊土木事務所	くわしくは御坊土木事務所
午後4時	田辺土木事務所
受付	12月4、5日前半10時
1日	県庁住宅課、御坊土木事務所、管内各市町村役場

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに保証者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小・中学生
定員	各会場とも100人
内容	シャトル投げ、的当て等
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~
場所	県立潮岬青年の家(〒649-35西牟婁郡串本町潮岬1-35)
日時	11月26日午前9時~
申込方法	ハガキに「紀州つ子チャレンジ・ランニング大会」参加希望と明記のうえ、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、保護者名を記入し、11月24日までに参加を希望する会場へ
参加費	無料(昼食各自持参)
対象	県内在住の小学生以上の家庭で参加も可)
定員	100人(先着順)

日時	11月26日午前9時~


<tbl\_r cells="2" ix="2

## 南紀白浜空港ジェット化記念 「エアポートフェスティバル」

先月8日、新南紀白浜空港で複葉機（ピッツ）のアクロバットショーや、ヘリコプター遊覧体験、子どもパイロット教室などの楽しい催しが行われました。

これは新空港の基本施設の完成を祝って開催されたもの。あいにくの雨でしたが、たくさんの人で賑わいました。

また、南紀白浜空港のマスコットキャラクターの愛称が、全国からいただいた数多くのご応募の中から「ナンキー」に決まり、グランプリを受賞した兵庫県の佐本さんの授賞式も行われました。

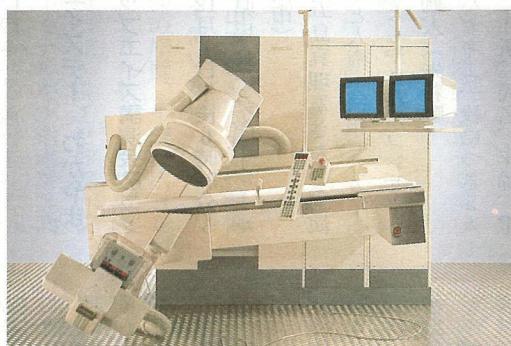
いよいよ来年3月に迫った南紀白浜空港ジェット化開港へ向けて、期待がふくらむ楽しい一日でした。

（白浜町）



## 県立医大紀北分院に最新鋭血管撮影装置

県立医科大学紀北分院に、最先端医療の高い要求に応えます。この装置は、血管撮影はもとより現在主流となっているIVR（血管造影手技）により血管病変治療、腫瘍治療など最先端医療の高い要求に応えます。また、胃腸透視をはじめ、あらゆるX線検査にも対応できる県下初の「多目的デジタルX線システム」です。地域医療の高度化に、救急医療に、大きな役割を果たします。



### 広域農道 南紀地区

このほど、広域農道南紀地区の田辺市上野と下三栖を結ぶ区間が完成しました。

これで既に開通していた上富田町生馬と田辺市上万呂を結ぶ区間とあわせて、全線開通したことになりました。

総延長約12キロメートルのこの農道は、田辺市街に通じる基幹農道として農産物の集出荷の合理化など地域農業の発展と生活の利便性に大きく寄与します。

（田辺市・上富田町）

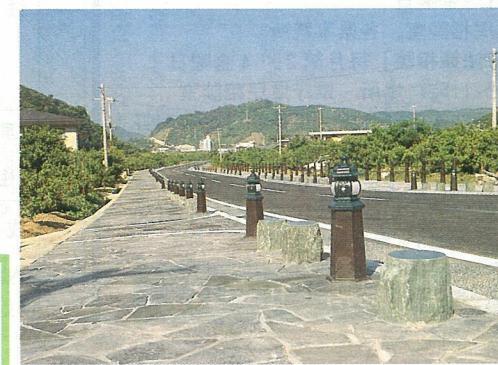


### 県道引尾下津線

県道引尾下津線の下津町上のバイパス道路工事が完成しました。

延長1.1キロメートルのこのバイパスは、一部の区間を国宝長保寺へ通じる「マイロード事業」として、周辺の景観と調和した歩道や自然石の舗装、灯籠風の車止めなどを整備しています。

生活、産業、観光道路として重要な役割を果たします。（下津町）



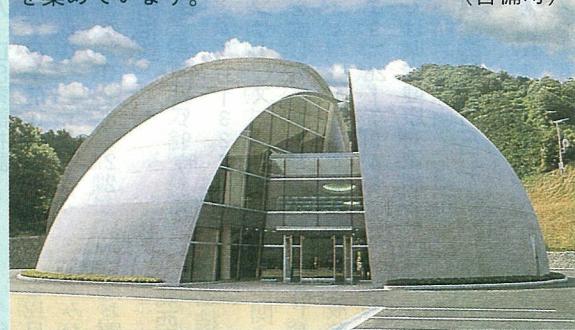
**県道が、農道が開通しています。**

## 町のシンボル吉備ドーム

吉備町役場の隣に出現したその名も『吉備ドーム』。「農村センター」と「文化ホール」からなる複合施設で、みかんをイメージして建てられたもの。

先月行われたこけら落としのコンサートでは、オーケストラと地元の小・中学生や一般のコーラス部の方が共演する一場面もありました。

地域文化の振興や地元産業の育成に大いに期待を集めています。（吉備町）



**「熊野」を愛した作家  
中上健次**

昭和二十一年（一九四六）、新宮市生まれ。県立新宮高校を卒業後、上京。ジャズや映画、演劇に熱中しながら、小説などを書き始め、同人誌「文芸首都」に参加。

昭和五十年（一九七五年）、二十四歳で結婚。羽田空港の現場で入り組んだ血縁の世界を強じんな文体で描いた『岬』で第七十四回芥川賞を受賞。戦後生まれの作家で初めての受賞と話題を集めた。

その後もふるさと熊野にこだわり、複雑な愛憎関係に生きる人間を描いた作品群を発表。著書には『枯木灘』『紀州・木の国・根の国物語』『火まつり』『奇蹟』『軽蔑』などがある。

昭和六十二年には、新宮高校の同級生や有志とともに熊野文化再興を旗印にした「限の会」を結成。また平成二年には「熊野大学」を開講し、熊野の歴史と意義を説く公開講座を開き、地元でも精力的に活動した。

昭和四年八月、多くの人に惜しまれつつ四十六歳でこの世を去った。



シリーズ⑩

**ふくのひとの知識**

あ  
と  
が  
き

この号の取材をしているのは九月下旬ですが、皆さんの家庭に届くのは十一月。

はやつてくる冬の寒さが頭に浮かぶ季節にならっていることでしょう。気の早いスキーヤーは、今年の雪の量はどんなものだろうなんて気にしているかも知れませんね。

「今日は、何月?」「え~っと……」

時々、今は何月かを忘れてしまうのが私た

11月は同和運動推進月間です



和歌山県同和委員会

## 課題を見つめ新たな展開を！



夫……「<sup>※1</sup>同対審答申が出されてから、もう二十年もたったね。」

妻……「ええ、<sup>※2</sup>同和対策事業特別措置法がつくられてからでも二十六年ですものね。」

夫……「長い間、同和対策がつづけられてきた結果、住宅や道路等、生活環境の改善はおおむね完了したといえるよ。」

妻……「確かに目に見える物の面では、格差は殆どなくなりましたね。でも見えにくい生活上のいろいろな面で、未だ多くの課題が残っていますよ。」

夫……「<sup>※3</sup>そうだね。一昨年国が実

施した実態調査では、地区の産業・就労・教育等の面に、まだ格差

が残っていることがわかつたんだ。これら

の格差は、過去の部落差別

とつながっているのだから、同和

問題の課題として考えなければいけないよ。」

妻……「それに、意識調査の結果

をみても、差別的な考え方は未だ

残っていますし、現に差別事件も

起こっているんですから、心理的差別の解消も大切な課題ですよ。」

夫……「全体的に見ると、地域によつて、進んだところと、遅れたところのアンバランスも目立つてきただ。だから、漫然と従来の対策を続けるのではなく、きちんと調査して、それぞれの地区の課題をきめ細かくつかんで、重点的に取り組む必要があると思うよ。」

妻……「同和問題は、人権問題なんですから、私たち一人ひとり、自分自身の自由と平等の問題であるという基本に立ち返つて、残された課題の解決に努力しましよう。」

<sup>※1</sup> 同対審答申(同和対策審議会答申)

昭和三十六年に発足した同和対策審議会が、昭和四十年八月に提出した総理大臣の諮問に対する答申で、その後の同和行政の基本的指針となつた。

<sup>※2</sup> 同和対策事業特別措置法

同対審答申に基づいて、生活環境や産業等同和地区的低位な生活実態を改善するため、同和対策事業を実施する根拠となつた法律。

その後、地域改善対策特別措置法や現行の地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律に引き継がれた。

<sup>※3</sup> 平成五年度同和地区実態把握等調査(総務省実施)

## 産業の課題



農家の経営土地面積別世帯数(49アール以下)		事業経営世帯に占める従業者数「1~4人」規模の割合			
同和地区	64.4%	「平成5年度同和地区実態把握等調査」より	同和地区	75.7%	「平成5年度同和地区実態把握等調査」より
全 国	41.1%	「平成2年農業センサス」より	全 国	63.6%	「平成3年事業所統計調査」より

妻……「世の中は平成不況の風が吹いていますが、地区の人たちのくらしは大丈夫かしら。」

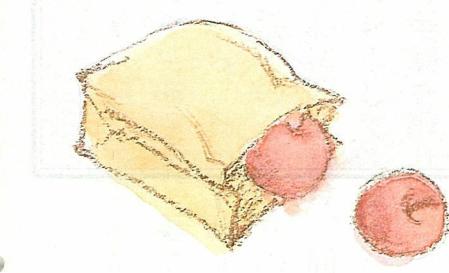
夫……「そうだね、産業の面では厳しいね。何しろ、経営規模が小さくて、不安定な個人経営者が多いからね。どうしても時の経済の波をストレートに受けてしまうところがあるね。」

妻……「やっぱり、私たち家計を預かるものからみても、生活の安定が一番だと思いますが、今どんないことが課題になっているかしら。」

夫……「全般的に言えることは、時代への適応をつけ、経営基盤の安定を図ることだろうね。」

妻……「具体的には……」

夫……「農業には高齢化の問題があり、建設業や小売業が多い自営業者には、基礎体力の向上と、後継者の育成があげられるね。また、共同作業所については、個別に見るといろいろ課題があり、よりきめ細かい対策が求められているところだね。」



## 就労面の課題

### 不安定就労の早期解消が大切

友子……「おかあさん、県民の友、特集号読んだの? 就労対策のこと」

立を促進することね。」

母……「差別の完全解消が載っていたの。差別の完全解消にあたって、就労の安定がとても大切なことだつて! おかあさん、もつとわかりやすく教えて。」

母……「そうね、おかあさんは、臨時雇・日雇など、不安定就労の解消が課題と思うけど。それに、勤め先の企業の規模を見ると、ま

だ、全国平均と比べて格差があるのよ。でも、公務につく人たちが多くなっていることなど、若い人たちを中心には、仕事面でも安定化する傾向にあるわ。これは、地区住民の努力の成果と評価して良い



友子……「行政が行つている各種の免許や、資格取得の講習会など、いろんな制度を活用することも、大切なことね。」

母……「まだほかにもあるわ。地場産業を育成して、働く場所を確保することも大切よ。」

### 課題解決は行政と住民の努力で

友子……「つまり、地区住民の自立を促進することね。」

母……「免許や資格の取得が、生活の安定向上に結びついていることに注目したいわ。」

有業者の勤め先・業主企業規模		雇用形態別有業者数			
	29人以下	300人以上	雇用者総数	常雇	臨時雇
同和地区	55.9%	10.6%	同和地区	73.6%	58.5%
全 国	46.3%	23.3%	全 国	73.9%	65.0%

「平成5年度同和地区実態把握等調査」より  
「平成4年度就業構造基本調査」より

# 教育の課題

太郎……「お父さん、同和地区生徒の進学状況は、どんなになつているの？」

父……「うん、かつては、大きな格差のあつた高校への進学率は、随分と向上して、現在では九〇%に達しているんだよ。」

太郎……「それじゃあ、高校進学についての格差はなくなつたといふこと？」

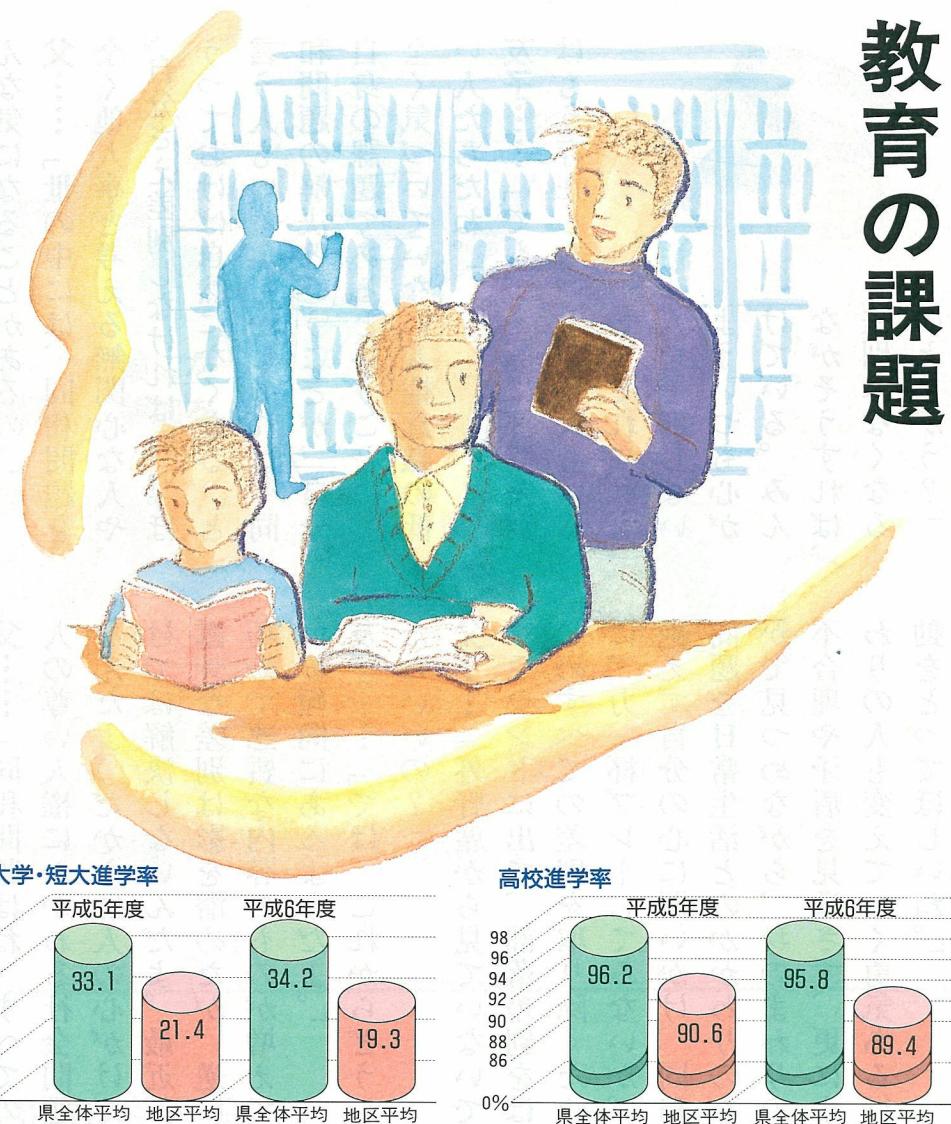
父……「それがねえ、いろいろな進学援助措置や学力向上への取り組みなどで、進学率は九〇%に達したのだが、まだ、数ポイントの差があつてね、その差が続いているのが現状なんだ。それに、大学進学については、まだかなりの格差があるんだよ。」

太郎……「フーン、それはどうしてなの？」

父……「そうだね、それぞれの地域社会の状況や、経済的な問題などがあると思われるんだよ。それに家庭環境の問題から子供たちの中に、学力を十分伸ばしきれない子もいるおそれもあるんだ。」

太郎……「経済的な問題だけだったら、奨学金の拡充ということで解決できると思うけど……」

父……「教育の問題は、将来の進路や生活基盤の安定にかかわることなので、地区それぞれの課題をきめ細く把握して、課題解決に向けて的確に対応することが求められていると思うんだだ。」



被差別経験の有無と内容（昭和63年度、地区住民意識調査より）



# 心理的差別の解消

妻……「今日、子供が『A君がB君を差別したから注意した』って言うんですよ。それで、たしなめたのはいいけど、仲良くしなさいよって言つておいたんですよ。」

夫……「そうか、もうそんなことわかる歳になつたんだね。これからは、正しく教えていかねばだめだね。」

妻……「子供は親の鏡と言うけど、子供の中の差別も親の意識の反映ですもの。」

夫……「そうだね。差別が少なくなったと言うけど、まだまだ、なくなつていないと聞く。県下でも年に数件、厳しい差別発言や差別落書き問題が起こっている。この間の研修会で、地区の人々の被差別経験は減つていないと聞いた。その差別の

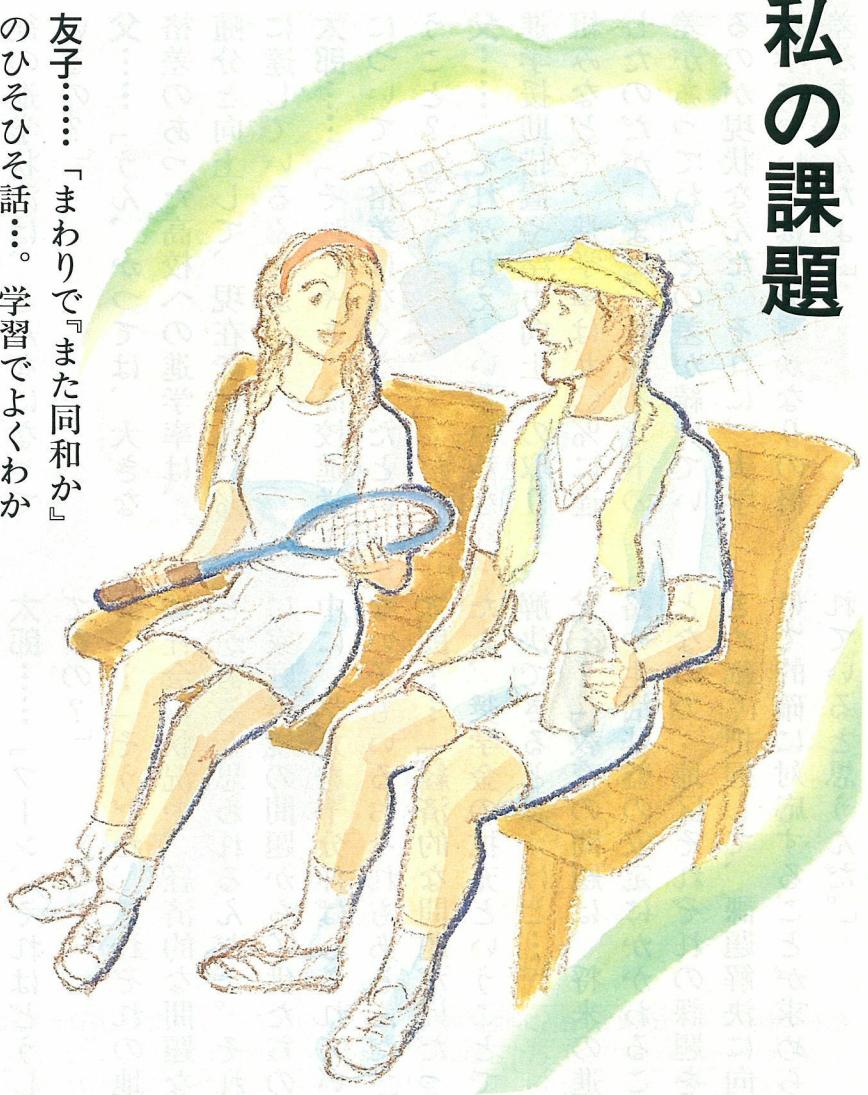
訴えはいつも、はげしく鋭いとは限らんということなんだ。たいていの場合は、か弱く、か細く、ひかえめであることが多いという…。今まで、それに気づかなかつたり、わかつても黙つていたり、無関心であつたことが、どれだけこの訴えを押しつぶしてきたことか。」

妻……「私たちがその訴えに耳を澄ます鋭い感覚と、それをうけてめる勇気をもつといふことが大切ということですね。そういう勇気をもつて、子供たちにも育つてほしいものです。」

夫……「そうだね。その勇気をもつて行動することこそが、心理的差別の解消につながるんだ。二十一世紀ももうすぐや。我々は親子一緒になつて、差別を生み出す土壤を打ち破つていかなくてはだめなんだ。」

訴えはいつも、はげしく鋭いとは限らんということなんだ。たいていの場合は、か弱く、か細く、ひかえめであることが多いという…。

# 私の課題

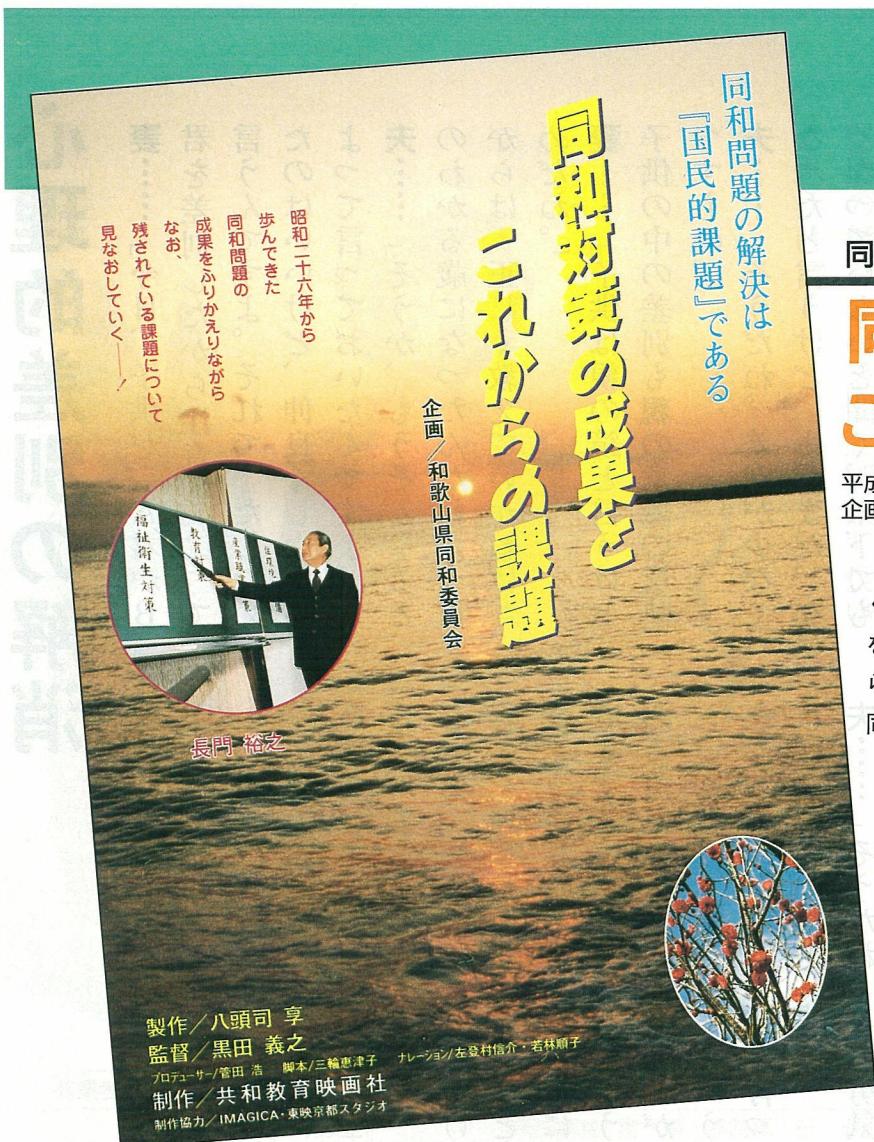


友子……「まわりで『また同和か』のひそひそ話…。学習でよくわかっているつもりの私でも、ふとそんな気になることがあるの。」

父……「世の中には、同和問題を全く他人事と考える無関心な人や、『自分さえ差別しなければいい。ほうつておけば自然になくなる。』と言う人もいる。しかしそれは、同和問題の解決ということが、自身の課題であるということに、全く気づいていない人権意識の低い人たちだね。」

友子……「でも、一部に部落差別はもう存在しないという人もいるし、それに私も人を差別しないよういつも心がけている。みんながそうすれば、差別はなくなるのどちらがう？」

父……「外野席から見ていないで、グラウンドに出て、部落差別をはじめすべての差別を取り除くために、力一杯プレーしてみないか。絶えず自分の心に問い合わせ、同和問題を日常生活とのかかわりのなかで見つめながら、身のまわりの不合理や矛盾を見逃さず、更にまわりの人も変えていく勇気ある行動をとつてほしいね。」



## 啓発映画を貸し出します(無料)

### 同和問題学習教材用

## 同和対策の成果と これからの課題

平成6年度ビデオ制作 カラー作品 上映時間26分  
企画 和歌山県同和委員会

今まで同和問題の学習用ドラマを数多く制作してきましたが、今一度、同和問題を振り返り、同和対策事業の成果とこれらの課題について、皆さんと一緒に考え、同和問題の早期解決をめざす作品です。

### テレビ和歌山で放映

平成7年11月11日(土) 12:00~12:55  
(再放送)11月16日(木) 18:30~19:25

『播れ動く国際社会の中。  
外国人から見た人権意識に視点をあてる——』



### 人権啓発ドラマ

## 愛は海より深く

平成5・6年度 カラー作品 上映時間55分  
企画 和歌山県同和委員会

国際社会の中で外国人から見た人権意識と部落差別に視点をあて、差別を受けた人達の「心の痛み」は共通のものであることを基本認識に、不合理な部落差別を解決していく同和問題人権啓発映画。

お申し込み、お問い合わせは **和歌山県同和委員会** 〒640 和歌山市小松原通1-1  
TEL 0734-41-3905

または各県事務所内

**各地方同和委員会**